

R6 地域こん談会まとめ

案件番号	自治会名	こん談案件	回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
1	大井町自治会	大井踏切の改善要望に対するJRと南丹土木の協議の進捗状況について 昨年も議題としました、府道王子並河駅とJR嵯峨野線が交差する大井踏切につきましては、昼夜を問わず歩行者及び車両が多く行き交う箇所であるにも関わらず、幅員が狭小で歩行空間も確保されていないため、非常に危険な状況である。 昨年10月17日再度JRと協議をして頂きましたが、その後の状況をお知らせください。	昨年10月17日のJR西日本との協議の中で、路肩を舗装等で少しでも拡幅することを提案いたしましたが、安全管理上不可能との回答でありました。 現在、京都府においては都市計画道路(並河亀岡停車場線)をバイパス整備することによりまして、踏切を渡る自動車の通過交通量を減少させることで安全対策に繋がたいと考えているところであり、本市としましては、早期完成に向け協力してまいりたいと考えております。また、並河亀岡停車場線の事業を進めて頂いている中で、旧道となる本踏切への事業投資は難しい状況となっておりますので、今後、バイパス整備が完成した後に実際の交通状況を見ながら、府道王子並河線の移管協議において、京都府による踏切拡幅の実施を粘り強く要望してまいりたいと考えております。	まちづくり推進部長	④要望	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 令和7年に移管事業が行われるで間違いはないか？	移管協議自体は令和8年度以降になります。 橋のスケジュール、計画について京都府から共有がないため、京都府に確認をしていきたいと思います。	市長 (まちづくり推進部長)	⑥その他	9月13日に地元説明会を実施しました。
		【質問等】 小学校の運動会や町民運動会などたくさんの歩行者がいる際に危ない。市道になる前になんとか府に要望してもらえるようお願いしたい。	現場も見に行っており、なぜ広げられないのかと思うが、JRは後ろ向き。JRの株主となって意見を言うことを考えていかないといけないと考えています。また、亀岡以北の昼間の運行本数が少ないことも含め提言していこうと思っています。	市長 (まちづくり推進部長)	④要望	こん談会時の回答のとおりです。
2	大井町自治会	○桂川、犬飼川、願成寺川の3川合流点に放流するにあたり、どのような水害防止対策を講じる計画か、進捗状況と合わせて教えてほしい ○今後の願成寺川・犬飼川・桂川の合流ルートを教えてほしい	保津橋下流にある4箇所の霞堤約1mの嵩上げ工事の完成に引き続き、残る霞堤(4箇所)の嵩上げについて、現在、計画が進められており、犬飼川と願成寺川との合流付近の霞堤につきましても、府、市、圃場整備事業者の3者で調整を行いながら、事業を進めているところでございます。 また、当該箇所につきましては、環境に配慮した工法の採用や工事計画の立案も必要となりますことから「環境及び治水に配慮した霞堤のあり方に係るアドバイザー会議」を設立し、現在、そうした専門家からの意見も聞く中で早期着工に向けた総合的な計画検討を実施しているところであります。 なお、願成寺川・犬飼川・桂川の合流ルートにつきましては、霞堤の嵩上げと合わせた計画案ができ次第、大井町自治会と協議してまいりたいと考えております。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。

R6 地域こん談会まとめ

		【質問等】 霞堤ですが、桂川の右岸堤防の嵩上げと犬飼川の方も嵩上げた際に、中間にある願成寺川はどうなるのか？犬飼川が貯水池になってしまうと逆流してしまうと心配している。	京都府としては、桂川の本川の水が圃場整備地区に流れないように嵩上げをしているところですが。 逆流については、願成寺川の堤防を嵩上げする、樋門を設置するなど考えられるが、計画は検討中です。下流の曾我部川から検討していき、計画がある程度固まった段階で、犬飼川、願成寺川の協議をさせていただきたいと思います。まだ変更ができる計画案の段階で協議させていただくので、よろしくお願いします。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 何かあれば今後も情報をいただきたい。	専門家も含めて下流域から順番に嵩上げなどの協議を進めていくため、犬飼川、願成寺川の協議の際には、しっかりと自治会と意見を交わしながら進めていきたいと思っています。	市長 (まちづくり推進部長)	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 願成寺川についてはアドバイザー会議で検討されている段階になっていないということか。いつ頃を目処に検討されるのか見通しを教えてください。	いつ頃になるか明確にはお答えができない状況です。圃場整備の橋については来年度か再来年度に完成予定となっています。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
3-1	大井町自治会	国道9号線並河交差点南西側歩道にガードレールの設置 国道9号線並河交差点は、大井小学校児童の通学路になっており登校時、南西角(スズキアリーナ亀岡側)から南東角(和さと亀岡店側)に横断します。 南西側の歩道は幅員が狭く、すぐそばを車が走行しています。安全確保のため、ガードレールの設置が必要だと思われます。出来れば歩道の拡幅もお願いしたいです。 時間帯によっては、並河駅からの通勤の人たちと行き違いになり、大変混雑します。又、雨天の時は、傘をさすので横二人並ぶことができません。 児童の安心安全のため、対応のほど宜しくお願い致します。	国道9号並河交差点南西側歩道の安全対策につきましては、令和6年6月に大井町自治会から京都国道事務所に対して要望書を提出されたと伺いしております。 国道9号並河交差点は大井小学校児童の通学路になっており、特に登校時は朝の通勤時間帯とも重なって、大変混雑している状況ですので、亀岡市としても早急な対応が必要であると考えております。 現在、京都国道事務所や亀岡市水道課など関係機関と協議を進めており、今すぐに歩道を拡幅することは難しいですが、できるだけ早く防護柵を設置できるように検討しております。 7/23に自治会役員の皆様、市議会議員、京都国土事務所、亀岡市で現場立会等を行う予定です。よろしくお願いします。	まちづくり推進部長	①実施	7月23日に現地立会を実施し、11月末に京都国道事務所において、歩道上に横断歩道防止柵を設置いただきました。

R6 地域こん談会まとめ

3-2	大井町自治会	国道9号線並河交差点南西側歩道にガードレールの設置 国道9号線並河交差点は、大井小学校児童の通学路になっており登校時、南西角(スズキアリーナ亀岡側)から南東角(和さと亀岡店側)に横断します。 南西側の歩道は幅員が狭く、すぐそばを車が走行しています。安全確保のため、ガードレールの設置が必要だと思われます。出来れば歩道の拡幅もお願いしたいです。 時間帯によっては、並河駅からの通勤の人たちと行き違いになり、大変混雑します。又、雨天の時は、傘をさすので横二人並ぶことができません。 児童の安心安全のため、対応のほど宜しくお願い致します。	本市では、「亀岡市通学路等交通安全対策プログラム」を策定し、通学路の交通安全の確保・向上していくため、亀岡市通学路交通安全推進会議を設置しています。同会議では亀岡市の道路関係、総務関係、教育委員会の3者が一時機関としてプログラムを運用することとしており、国道事務所や南丹土木事務所、亀岡警察署を二次機関として必要に応じて連携して通学路の交通安全対策および安全点検等を実施していくこととしております。 そのような中で教育委員会の役割としては、登下校時をはじめとする児童生徒への交通安全に対する指導の徹底や安全確保は当然といたしまして、道路の安全対策を実施する道路当局との連携を適切に図ることとしているところでございます。国道9号線などの交通量の多い道路付近が通学路になっている場合については、特に危険性が高い箇所であり、毎年、国、府、市の道路管理者とともに点検や会議を来ない、安全対策について対策を講じていただけるように要望しているところであります。今後につきましても、危険箇所について早期に対策を行っていただけるように各道路管理者と連携を図ってまいりたいと考えております。	教育部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです
		【質問等】 並河の交差点からホンドの自動車屋の裏を通過して小城製菓の前を通り、吉川方面まで抜けていく都市計画道路が計画されていたかと思うが、今も生きているか。	並河の交差点の手前で国道9号につながる都市計画ラインが入っています。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです
4	大井町自治会	宅地造成に伴い必要なくなった農業用の用排水路の管理について かつて大井町では、市街化区域においても多くの農地がありましたが、工業団地や区画整理事業による宅地化が進み、当時は農地に必要であった農業用水は必要としない状況となり、現在水路は雨水を排水することが主目的となっているところです。 農業に必要な無くなった用水路は、管理不全となり土砂が堆積し雑草や木も生える状態となっており、水路の近隣住民から環境悪化による苦情が出ているほか、近年ゲリラ豪雨が局地的に多発していることから、排水能力低下による内水氾濫も懸念するところです。 国道9号沿いダイハツ自動車販売(グーネット中古車販売)とサンク・メルペーユ並河(マンション)の間を流れる水路に土砂が堆積し、草木が生い茂り環境が悪化しており近隣住民から苦情が寄せられている。	今回ご指摘いただいております役割が無くなった農業用の用排水路は、いわゆるかつてより「国有水路」や「里道」と称しております物と同じく、多くの場合が法定外公共物に位置付けられるものと考えられます。その上で、法定外公共物の管理については土地の所有者は亀岡市ではありますが、施設の日常管理については地元という取り扱いで、これまでから対応をお願いしてきているところでございます。 地域ごとのご事情はあるかと考えますが、市内一円無数にある里道水路を市の管理で対応するのは難しいのが現状であり、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。 地元で対応が難しい場合は、市で対応させていただく場合もあるため、土木管理課まで連絡をいただけたらと思います。	まちづくり推進部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 もともと農業用水路なので、自治会が入っていくと叱られる。 なにか良い対策など考えてもらいたいと思う。	一度どの程度流れるのかなど、現状調査をしてみたいと思います。	市長 (まちづくり推進部長)	①実施	年度内完成で実施しております。

R6 地域こん談会まとめ

5	大井町自治会	大井生涯学習センターの指定避難所機能の改善について2階に上がるエレベーターの新設とトイレのバリアフリー改修を実施していただきたい。	2階に上がるエレベーターにつきましては、メディアス亀岡の建物に付属する設備であるため、メディアス亀岡管理組合で対応いただきたいと思います。 大井生涯学習センターのトイレのバリアフリー改修につきましては、「亀岡市生涯学習施設整備事業補助金」を利用いただきますようよろしくお願いいたします。 自治会の改修事業でしたら、50万円以上の事業に対し、補助率が40%となっており、補助限度額が200万円としております。	総務部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 市としての見解を理事会あるいは総会に出席いただき、所有者として伝えていただきたい。 補助金を利用するという話は聞いていたが、こちらは自治会の施設ではない。市の施設である。	一度経過も含めて確認し、検討させて頂こうと思います。	市長 (総務部長)	③検討 ⑥その他	エレベーター設置に関しましては、大井生涯学習センターのみに使用される設備ではなく、マンション全体に係る改修とみなされるため、マンション管理組合の修繕積立金において対応されるべきと考えております。 また、指定管理施設(大井生涯学習センター)に関する修繕につきましては、他の指定管理施設である生涯学習センターと同様、指定管理者が施設管理を行うとして基本協定を結んでおりますので、引き続き生涯学習施設整備事業補助金を利用いただきますようお願いいたします。
6	大井町自治会	並河駅と千代川駅を起終点とするコミュニティバス路線の新設について	大井町では現在、ふるさとバス並河駅コース がJR並河駅から運行しており、また千代川町ではふるさとバス畑野千代川コース及び、川東コースの一部が JR千代川駅から運行しております。また国道9号を経由し、JR亀岡駅からJR園部駅を結ぶ京阪京都交通バスも、大井町、千代川町内を運行しております。 確かに、JR並河駅、千代川駅を合わせるとJR馬堀駅を上回る利用があり、大井町、千代川町ともに土地区画整理事業により住宅区域が拡大しているところでもありますので、住民の皆様のニーズに合わせたバス路線の見直しを、随時行ってまいりたいと考えております。 御提案のようなJR並河駅と千代川駅を発着点とするコミュニティバスの新設も、一つの方法として考えられますが、現在、京阪京都交通においてはバスの運転士不足により一部の運休が続いているところであり、路線の検討にあたっては、運転士の負担も考慮し、既存路線の見直しと合わせて、より効率的な運行形態を目指す必要があります。 また、路線の新設にあたっては30%程度の運賃収入を目標とすることが考えられますが、現在の収支率は並河駅コースについては14.29%、畑野千代川コースについては17.27%であり、これを上回る利用が見込めるかどうか、課題になると考えております。 様々な課題がある中ではございますが、まずは事業者と連携し運転士不足解消に向けて取り組むとともに、ダイヤ改正や路線見直しによる利便性の向上に努めてまいりたいと考えておりますので、住民の皆様におかれましても、積極的に御利用いただき、公共交通を支えるお力添えを賜りますようお願いいたします。	まちづくり推進部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです。

R6 地域こん談会まとめ

		【質問等】 ① JRもコミュニティバスにしても、便が少なく、1日3便ならみんな利用しないかもしれない。最初は南部の工業団地もバスが走っていたが、健康志向になり、駅から歩いておられる。便が増えるようなことがあれば、利用されると思う。 ②現に高齢者が増えている中で、運転免許証返納を躊躇っておられる方も複数おられる。 ③JRについて、園部まで行かれる方も多いので第43回の全国都市緑化フェアの機会に、便の増加をお願いしたい。	①に対して 今の時代、自分の予定に合った時刻で 利用できなければ利用しない状況が多々見受けられます。亀岡市は今年度から、地域輸送交通を実施している地域や団体に対して車を提供しています。高齢者対策が主だが、大変難しい。まず、JRの便、昼間の時間を 最低でも1時間に2本のような取り組みは優先的にやらなければいけないが、便数を増やしたからといってどれだけ乗ってくれるかという、正直、公共費用の垂れ流しになってしまうのが現実です。大井町の人材も多いので、地域輸送交通を地域の高齢者のために実施することで、市としても交通のための足となる車の提供及び保険も含めた提供ができます。やり方を少し工夫する必要があるが高齢者の足の確保はできると思います。現在の状況を考えると新たな投資は難しいと思っています。 ②に対して 今すべきことは、免許返納しなければならない高齢者の方々が、返納しても地域の足があるということが大事だと思います。特に周辺部地域のドライバーを確保し、そして高齢者の移動のために、事前に予約をいただき、それに合わせて車を配車して迎えに行くなど玄関先まで迎えに行く取り組みを実施されています。バス停まで行けない人もいますので、検討していただきたいです。 ③に対して 嵯峨野線は利用者が増えています。京都から亀岡までは増えているが、逆に言えば亀岡から南丹まで減っています。行政としても、イベントを通じて京都丹波を全国に売り出して、この地域に人が足を運んでいただけるようにすることが、結果的にJRの収益を上げることに繋がってきます。地域の足の利便性が高まれば大変ありがたいと思っており、そのチャンスを逃さず行っていきます。	市長 (まちづくり推進部長)	1:⑤困難 2:⑥その他 3:④要望	こん談会時の回答のとおりです。
7	大井町自治会	開発公園維持管理について 開発公園の維持・管理で、草刈り等は地元で管理することはやむを得ないと考えますが、点検で市の方から私的指摘された遊具等構造物の維持管理は、安全性の観点と修繕費が高額なことから、亀岡市で全額負担していただきますよう要望いたします。 並河第三サニータウン公園のブロック塀がずれており、非常に危ないと公園の緑地課の方から指摘を毎年されている。長さも50メートル以上ありいかにも危ない状態と認識しているが、地元での修理は厳しく手に負えないので市に修繕をお願いしたい。	市内一円の開発公園については、地元の自治会組織等により公園内のすべての施設を管理いただいており、遊具等の更新や補修にあたっては、亀岡市開発公園整備事業補助金を活用し維持管理を行って頂いているところです。 近年、少子化により利用されなくなることや、設置当時からかなりの年月が経ち、遊具の補修や更新に高額な費用が生じる等の課題があると聞いておりますが、不要となった遊具の撤去や、維持管理費用が抑えられる遊具への変更などにより、経費節減に努めていただいています。 灯台開発公園では年2回点検をさせていただいている。危険箇所は自治会に指摘をさせていただき、ブランコの座面など安全確保対応をしてもらっています。すべてを修繕するとなると費用もかかるが、痛んでいるのはごく一部の場所でもあるので、経費を抑えた修繕を実施してもらえたら費用も抑えられると思います。修繕も経費を都市整備が所管なので、技術面とか修繕方法について相談頂ければと思います。 つきましては、引き続き、地元での維持管理についてご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。	まちづくり推進部 全国都市緑化フェア担当部長	⑤困難	こん談会時の回答のとおりです。

R6 地域こん談会まとめ

		【質問等】 ①今の時代では、我々に委託されて、そして地元で管理してもらうという時代ではないと思う。将来的には亀岡市の方で管理してもらえるよう考えてほしい。 ②大井町だけのことではない、155箇所と聞いている。地元区が大変苦勞している。開発当初の時に、開発業者と覚書の中で地元管理となっているが、団地内自治会は不明確であり、今後整理していく必要があるのではないか。根本的なところも整理願います。 ③先ほどのブロック塀が非常に高く、幼稚園・保育園の子どもたちが遊びに来ると聞いている。早急に対応するべきか我々はわからない	①に対して 開発公園は、基本的に地元の皆さんが土地を売ってそこに住宅を建てて、それに伴い住む人たちのために緑地を作らなければという開発協議の中で捉えられた公園である。基本的には地元で開発していただき、管理してもらうところが大前提になります。 1箇所でも管理すると、亀岡市には数百の開発公園があり、全部見ることになります。そうすると、税金だけで全て賄うことができない。年2回調査をして危険であれば対策を取る必要があると思っているので、その辺は地元とも協議しながらしっかり対策をとっていきたいと考えています。どの程度の安全対策をすればブロックベイが倒れてこないことも含めて、検討して行きたいと思います。公園の方との立ち合いに、技術職員を派遣をして、どう対応すれば1番安全度が高まるかというアドバイスして進めていこうと思います。 ③に対して 高い塀が約2.2mで、基準通り作られてる。1.2mの低い方の壁は、現地確認すると地面が下がり折れてしまっています。そのため、ブロックの重さが原因で折れたではありません。折れた部分に前板を当てるなど費用を抑えられる修繕をしていただけたらと思います。	市長 (まちづくり推進部 全国都市緑化フェア 担当部長)	①実施 ⑤困難	並河第三サニータウン公園のブロック塀について、ブロック塀の中に鉄筋が入っているかについてご心配されていたことから、区長様と現地立会いし、鉄筋探査機を使用して鉄筋が入っていることを確認しました。補修については、全体をやり替えるのではなく、破損している箇所にコンクリートを流し込む程度の修繕で一定の安全は確保が出来るとのアドバイスをを行いました。区長様は、今年度の亀岡市開発公園整備事業補助金の申請期限は過ぎていることについて理解されておられましたので、来年度に補助金を活用して修繕するかを再度区で協議するとお話されました。
		【質問等】 ①6月18日の火曜日、朝から雨が降り、大井小学校の前の歴史公園の前の道で、子供たちが傘をさして班ごとに集団登校してくる児童、保護者の車で送ってもらう児童、通勤車両、府道王子並河線の通過車両、踏切が列車を通過するために通過待ちで停車する車で大渋滞だった。このような状態の中で、登校は鉄道歴史公園から前の横断歩道を通って登校している。私は児童を安全に通過させるために、車両が通過するまで子供を待機させ車が通過してから渡らしている。 横断歩道を通させている間にも、霞が丘の方面に入ってくる車両や児童の送迎の車両が止まっているが2、3台も止まってしまうと非常に危険な状態になる。鉄道公園の歴史の前に駐停車禁止のカラーコンなど駐車ができないような形にしてほしい。この状況については学校にお伝えし、PTAを通じて保護者に理解を求めていただいたことで、最近横断歩道を通してから渡るようになっていく。踏切である為、踏切上で車が止まってしまうと大事故にも繋がる。	何かあった後では遅いので、対策を取る必要があります。まず1つは、PTAを通じて、保護者に送迎場所について禁止範囲を設けたり、ルールを作る必要があります。日々通過する方々、そして府道を通る方々おられるので、線路内で立ち往生すると事故が起こり大変なことになるってしまいます。1度、学校とも協議をして、PTAにルール作りをするような対策を取らないと、コーンを立ててもより通行が難しくなり事故になる可能性があります。ソフト対策を進める必要があると思います。 今の市長からあったように、PTAの管理をお願いをして、保護者のマナーの部分も含めて学校と協議していきたいと思っています。	市長 教育長 (教育部長)	③検討	こん談会時の回答のとおりです
その他意見等	大井町自治会	朝の時間、JRの踏み切りや小学校の送迎が重なる。府道から亀岡市の道に移管されるタイミングで並河王子線の交通量を時間的に一方通行に切り替えるなどの対策が無いと混雑問題は改善されない。7時から9時の2時間の一方通行も含めて検討いただきたい。	一方通行化については地元の意向があれば出来ると思います。安全な方法の1つでもあるので、前向きに検討していきたいと思っています。まずは地元の皆さんの意思疎通をまとめていただく必要があります。	市長 (まちづくり推進部長)	③検討	こん談会時の回答のとおりです。

R6 地域こん談会まとめ

その他意見等	大井町自治会	桜ヶ丘区、緑ヶ丘区、小金岐区の3区で出しているが、(配布した地図上)道幅が狭く交通量の多い生活道路であり、かつ学生と小学生通学路になっている 千代川ではソフトコーンの設置がされているが、小金岐会議所前に、カラーコーンがなく速度が上げる車が多いため、カラーコーンの設置をお願いしたい。 2ページ目、道路のひび割れや段差が多く、車以外にも歩く人が多いため踏く方がいる。そのため、補修をお願いしたい。 3ページ目、30キロ規制にしているが速度を上げる車が多いので、ソフトコーンの設置により車の速度も落ちるため、事故等災害も発生しないと思うので、対策をよろしくお願いします。	安全対策を講じていく必要があり、そのためには、地域の皆さんが意思疎通をしていただくことが大事で、特に千代川の場合は自治会を中心に安全対策をずっと実施されておられ、どこにソフトコーンを立てるか地元で基本的に決めていただき、公安委員会に提案をして、公安委員会の指導のもと実施している。市だけで設置することはできないため、桜ヶ丘区、緑ヶ丘区、小金岐区、それぞれの自治体関係者の皆さんと共に、この道をどうするか議論し、地域にとって何が良いのか知る必要があると思っています。 舗装については、悪ければこれは直していく。状況を見ながら取り組んでいきたいと考えています。	市長 (まちづくり推進部長)	③検討	こん談会時の回答のとおりです。
--------	--------	---	--	-------------------	-----	-----------------